

平成27年度 とちぎ農業ビジネススクール 若手農業者の経営改革プラン策定を支援

「プロ農業者」を目指す若手農業者が集まる
経営スキルと経営マインドを習得

栃木県農業大学校は、経営の高度化に強い意欲を持つ農業者、需要に即応した商品づくりや販路開拓を目指す農業者などを対象に、「とちぎ農業ビジネススクール」を毎年7月に開講しています。

今年度は、7月の第1回講義から閉講式（平成28年3月）まで、約8ヶ月（全18回）にわたり、商品開発の企画、農産物のブランド化とマーケティング、労務管理など経営に必要なスキルを学びます。また、経営者としての意識改革を促し、経営者マイン



【講義の様子】

ドを習得してもらうことも狙いの一つです。

当機構は、このカリキュラムの中で、平成27年10月6日から始まった「経営革新プランニング」の講義を受託しています。

当会員の（一社）農業経営支援センターとともに、経営革新プランニングの講義（全7回）では、最初に事例を使って経営革新プランへの理解を深め、その後、4回の講義・演習を通して、思いや考えを具現化した実効性のある経営革新プランを作成していきます。

どの受講生も、多忙な農業や営業活動に追われながらも時間を作って講義に参加し、5年後、10年後のなりたい姿を思い描きながら、真剣に講義に耳を傾けています。プラン作成演習で、講師に疑問点を聞き、納得いくまで話をする姿から、経営をもっと良く



【演習の様子】

したい、新たな方向に進みたいという真剣な想いが伝わってきます。

「とちぎ農業ビジネススクール」の講義は、残すところあと3回。最終回は、受講生が一人ずつ経営革新プランを発表し、閉講式をとり行います。

J-PAO トップマネジメントセミナー 開催決まる

当機構は、第8回トップマネジメントセミナーを3月7日（月）14時から、糖業会館（東京都千代田区）で開催します。

TPPの大筋合意や国内マーケットの縮小など、農業を取り巻く環境が大きく変わる中、「多様性」と「変革」をキーワードに、経営者の現場の声を交え、日本農業の可能性を探ります。

【当日のプログラム】

■第一部 講演

（14時～15時10分）

テーマ：女性が輝く農業経営とは
講師：農業ジャーナリスト
青山 浩子氏

■第二部 パネルディスカッション

（15時20分～16時50分）

テーマ：女性のマネジメントで経営はこう変わる
経営はこう変わる
パネラー…

・大嶋美智子氏（株）大嶋農場 取締役
・新岡敏美氏
（有）新岡農園 代表取締役

・降矢セツ子氏（有）降矢農園 取締役
・前田智恵子氏
（株）前田牧場 専務取締役

■交流会（17時～18時30分）

詳細やお申し込み方法は、J-PAOのホームページをご覧ください。
みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

□ 専門部会の動き (12月分)

【事業化支援・販売支援①】

米の卸売業におけるコスト削減について討議しました。

卸売業は、政策やマーケット動向、消費者の選択など様々な要素によって影響を受けやすい、インフラ整備と構造改革によってコスト削減につなげられるが無理のない形で進めることが大切、消費者ニーズを的確に捉えて商品開発に活かすことが大事などの意見が出ました。

次回はT P Pについて討議する予定です。

【人材育成】

11月に始まった企業派遣型ワークショップ研修について、研修の進捗状況を報告し、今後の進め方について意見交換を行いました。

また、第三者への経営継承について、中小企業基盤整備機構の事業引き継ぎ支援事業や事業承継支援マニュアルについて内容の確認等を行いました。

次回も引き続き、企業派遣型ワークショップ研修の内容検討、第三者への経営継承について意見交換を行う予定です。

【事業化支援・販売支援②】

6次化商品(梅加工製品)の商品性について、討議を行いました。

主な意見は下記のとおりです。

- ・高齢者だけでなく、他の世代もターゲットになるのではないかな
- ・洋食化が進む若い世代に訴求するために洋食と相性の良い調味料や加工品を考えてみてはどうか
- ・梅と一緒に消費する地元特産品とのセット販売はどうか
- ・健康食品分野で梅を使用した商品が販売されている。熱中症対策やアスリート系サプリメントなど新たな可能性もあるのではないかな

次回も6次化商品の商品性について、討議を行います。

□ 会員の活動紹介

12月の企画運営委員会では、株式会社コメリと住友化学株式会社の2会員に活動内容をお話しいただきました。

株式会社コメリから、事業内容やコメリホームセンターの紹介、農業にかかわる取組などについてご紹介いただきました。

住友化学株式会社からは、日本の農業経営の未来を支える「トータル・ソリューション・プロバイダー(TSP)」について、内容などをご紹介いただきました。

□ 主な活動 (12/24~1/29)

- 1/13 第99回企画運営委員会
- 1/18 講師(日本公庫、岡山県)(伊藤)
- 1/18 講師(熊本県)(高田)
- 1/19 研修講師(農林中金アカデミー、長崎県)(竹本)
- 1/21 講師(徳島県)(伊藤)
- 1/26 講演(日本公庫、熊本県)(カゴメ藤井会員)
- 1/28 社内研修講師(株)ノベルズ、東京)(竹本)

【事業化支援・販売支援③】

牛の育成経営について討議しました。

人件費が削減できていない要因として現状の数字を把握していない可能性もある、1人で管理する牛の頭数も検証するとよい、不利な内容については取引条件の見直しも必要などの意見がでました。

次回も農業ビジネスモデルについて討議する予定です。